



福岡県立筑紫中央高等学校同窓会機関紙

発行人 村田安幸 事務局 大野城市中央1丁目3-18



後輩達は

# 青春謳歌

体育祭・文化祭  
修学旅行と



平成11年度 福岡県立筑紫中央高等学校同窓会総会

## なつかしいあなたに会えるかも！

■ 日時 平成11年6月13日(日) 11:00~

■ 当 番 高31回生 (昭和54年卒)

■ 会 場 のがみプレジデントホール “筑紫”

■ サ ブ 高16回生 (昭和39年卒)

# 平成10年度同窓会総会を盛大に開会 業務量増により役員を増員

平成10年度の総会が、7月5日(日)『のがみ会館』プレジデントホールに於いて、多数の同窓生や来賓、恩師の参加を得て、盛大に開催されました。

今年度の当番は30回生(昭和53年卒、榎木孝一代表幹事)、サブ幹事は15回生(昭和38年卒、和田健作代表幹事)が務め、受付・進行から接待までを見事に遂行され、参加者の皆さんの盛大な感謝の拍手を受けられました。

前年度が学校創立80周年記念同窓会であったことから、今年度は少じ参加者が少ないのではないかと、本部役員をはじめ関係者は心配していましたが、思いの外、盛況であったことから、我が同窓会会員の結束の強さが改めて確認されました。

なお、この総会で決定された事項は、次のとおりです。

◆第一号議案 平成9年度事業報告 創立80周年記念同窓会総会や理事会等の会議、東京支部等の支部関係、在校生及び部活動への援助の学校関係、御建築中央協会などの事業が報告され、承認されました。

◆第二号議案 平成9年度決算

報告 下右表のとおり、承認されました。

◆第三号議案 会則の改正について 組織の充実と業務量の増加から、副会長と庶務・財務担当常任理事をそれぞれ増員することが提案され、議決されました。

◆第四号議案 役員の変更について 選考委員会の選考結果どおり議決されました。また、第三号議案で可決された役員増員により、渡辺美智子氏(4回卒)と松下征雄氏(10回卒)が副会長に、秋吉正一氏(20回卒)

が庶務担当常任理事に、高橋裕司氏(21回卒)が財務担当常任理事に、新たに選任されました。

◆第五号議案 平成10年度事業計画(案) 原案のとおり、可決されました。

◆第六号議案 平成10年度予算(案) 下左表のとおり、可決されました。



総会終了後、出席者全員で校歌を斉唱

## 平成10年度 同窓会予算(案)

### ○収入の部

費目	平成10年度	平成9年度	比較	備考
前年度繰越	3,644,149	188,349	3,455,800	
全日制会費	8,100,000	7,500,000	600,000	@500×1,350人×12月
定時制会費	246,000	216,000	30,000	@200×100人×12月
諸収入	10,000	10,000	0	利息等
計	12,000,149	7,914,349	4,085,800	

### ○支出の部

費目	平成10年度	平成9年度	比較	備考
事務費	200,000	70,000	130,000	事務用品・消耗品
会議費	1,000,000	700,000	300,000	総会・理事会諸経費
旅費	700,000	500,000	200,000	東京支部・理事会等出席旅費
渉外費	200,000	200,000	0	交際・渉外費
慶弔謝恩費	200,000	200,000	0	会員・学校慶弔関係費
通信費	600,000	200,000	400,000	理事会案内通信費、80周年寄附者新聞発送代
事業費	1,500,000	1,000,000	500,000	支部活動費、広告宣伝費等事業費
人件費	180,000	180,000	0	事務員賃金
補助金	1,600,000	1,600,000	0	御建築中央協会への運営補助
積立金	5,500,000	500,000	5,000,000	積立金会計へ繰り出し
繰出金	0	2,500,000	▲2,500,000	平成9年度の80周年特別会計へ繰り出し
予備費	320,149	264,349	55,800	
計	12,000,149	7,914,349	4,085,800	

○ 積立金予算 平成9年度までの積立 20,662,136円(平成10年5月現在)  
 平成10年度積立て予定 5,500,000円  
 計 26,162,136円

## 平成9年度 同窓会決算報告

### ○収入の部

費目	予算額	決算額	増減	備考
前年度繰越	188,349	188,349	0	
全日制会費	7,500,000	8,296,000	796,000	@500×延16,592人(月・約1,382人)
定時制会費	216,000	247,272	31,272	@200×延1,236人(月・約103人)
諸収入	10,000	877,127	867,127	80周年会計から残額分繰入れ875,793円、その他利息
計	7,914,349	9,608,748	1,694,399	

### ○支出の部

費目	予算額	決算額	残額	備考
事務費	70,000	58,789	11,211	事務用品・消耗品
会議費	700,000	143,636	556,364	総会・理事会諸経費
旅費	500,000	330,600	169,400	東京支部・理事会等出席旅費
渉外費	200,000	130,000	70,000	交際・渉外費
慶弔謝恩費	200,000	67,150	132,850	会員・学校慶弔関係費
通信費	200,000	46,784	153,216	理事会案内通信費
事業費	1,000,000	417,640	582,360	支部活動、広告宣伝活動費
人件費	180,000	170,000	10,000	事務員賃金
補助金	1,600,000	1,600,000	0	御建築中央協会への運営補助
積立金	500,000	500,000	0	積立金会計へ繰り出し
繰出金	2,500,000	2,500,000	0	80周年特別会計へ繰り出し
予備費	264,349	0	264,349	
計	7,914,349	5,964,599	1,949,750	

○ 総収入額 - 総支出額 = 残額  
 9,608,748円 - 5,964,599円 = 3,644,149円(翌年度へ繰越)  
 ○ 積立金決算 平成8年度までの積立 20,114,263円(平成9年4月現在)  
 平成9年度分利息 47,873円  
 平成9年度分積立 500,000円  
 計 20,662,136円(平成10年5月現在)



村田安幸会長

# 村田安幸氏を再選 (任期2年)

## 副会長には陶山・政住・岡氏と 新たに渡辺・松下氏を選任

役職	回生	氏名	郵便番号	住所	電話番号
会長	高全6	村田安幸	816-0962	大野城市つつじヶ丘2-1-8	092-596-2718
副会長	女29	陶山雪代	818-0104	太宰府市通古賀1070-1	092-922-4593
	高全4	渡辺美智子	818-0125	太宰府市五条2983-4	092-922-3922
	高全7	政住三俊	818-0066	筑紫野市永岡491-4	092-925-2093
	高全9	岡松久征	818-0055	筑紫野市塔原404-33	092-924-6886
	高全10	松下凱雄	816-0054	福岡市博多区東月隈1-9-10	092-503-2600
事務局長	高全18	鬼塚春光	816-0923	大野城市雑餉隈町5-1-20	092-582-6373
庶務担当 常任理事	高全4	山本雄三	816-0806	春日市光町3-56	092-595-6948
	高全20	秋吉正一	818-0061	筑紫野市大字紫388	092-922-7194
財務担当 常任理事	高全6	川原幸枝	816-0952	大野城市下大利2-5-5	092-501-9471
	高全14	永田義信	818-0104	太宰府市通古賀67-2	092-924-5881
	高全21	高橋裕司	816-0983	大野城市月の浦4-23-25	092-596-0837
常任理事	女11	笠原シヅエ	816-0074	福岡市博多区光丘町2-2-15	092-591-5624
	女19	倉鬼公智	818-0134	太宰府市大佐野1-9	092-923-4038
	女20	藤村智サト	811-1313	福岡市南区日佐1-4-12	092-581-1294
	女28	中村ミサト	818-0122	太宰府市高雄1-3704-3	092-922-4653
	女30	中村君枝	818-0101	太宰府市観世音寺157-2	092-923-0823
	高全4	村上弘	818-0117	太宰府市宰府1-4-13	092-922-3948
	高全5	大坪寿雄	818-0118	太宰府市石坂3-16-1	092-922-6304
	高全6	大白水敏	816-0822	春日市ちくし台3-4	092-501-3110
	高全定6	久保悦子	818-0125	太宰府市五条1-16-8	092-925-1495
	高全7	宮野石ツタエ	816-0814	春日市春日2-53	092-591-6469
	高全8	野本功	818-0025	筑紫野市筑紫693-8	092-926-1515
	高全9	本田重幸	818-0047	筑紫野市大字古賀42-22	092-925-4646
	高全10	松島康雄	816-0943	大野城市白木原4-7-21	092-582-6226
	高全11	重松孝憲	818-0104	太宰府市通古賀5-7-48	092-922-6113
	高全12	高良英征	816-0972	大野城市平野台1-7-16	092-596-2888
	高全13	竹島猛	818-0055	筑紫野市塔原406-1	092-922-0977
	高全14	古野由美子	818-0105	太宰府市都府楼南3-5-17	092-923-6679
	高全15	和田健義	816-0906	大野城市中2-11-22	092-503-5088
	高全16	永田田満	818-0104	太宰府市通古賀807-6	092-924-5949
	高全17	浜田徹	816-0964	大野城市南ヶ丘6-20-17	092-595-0517
	高全18	井上洪	816-0942	大野城市中央1-6-3	092-501-2292
	高全19	黒田代	815-0033	福岡市南区大橋2-20-12-407	092-512-2444
	高全20	田代邦夫	818-0051	筑紫野市大字二日市1092-7	092-924-1201
	高全21	大谷東	818-0131	太宰府市水城6-10-18	092-921-2397
	高全22	伊藤徳明	811-2207	粕屋郡志免町南里186-1	092-936-2519
	高全23	関井利夫	816-0911	大野城市大城3-9-16	092-503-2123
	高全24	白中重彦	811-1213	筑紫郡那珂川町中原224	092-952-3410
	高全25	白中水野	816-0094	福岡市博多区諸岡4-34-13	092-591-4189
	高全26	見城俊昭	816-0905	大野城市川久保2-7-10	092-503-8289
	高全27	伊藤詠子	816-0904	大野城市大池1-14-9	092-503-0180
高全28	林紅	816-0814	春日市春日8-1-1	092-596-6335	
高全29	野野良	816-0854	春日市下白水北3-36	092-592-2858	
高全30	植木孝治	818-0032	筑紫野市西小田334-2	092-926-9515	
筑友会 太宰府支部 春筑会 東京支部 関西支部	高全14	田中清和	818-0043	筑紫野市むさしヶ丘2-9-5	092-928-5122
	高全4	村上弘	818-0117	太宰府市宰府1-4-13	092-922-3948
	高全9	高部壽一	816-0805	春日市千歳町3-31-28	092-581-5997
	高全5	岡文雄	194-0044	東京都町田市成瀬2154-87	0427-25-3579
	高全4	高柳晴彦	666-0116	兵庫県川西市水明台4-2-19	0729-93-1582
監事	高全5	長沼美智子	816-0082	福岡市博多区区野5-2-14	092-581-2574
	高全14	柴田俊太郎	816-0842	春日市下白水1016	092-591-0561



陶山雪代副会長



渡辺美智子副会長(新)



政住三俊副会長



岡久凱副会長



松下征雄副会長(新)

今回は、私達の象徴ともなっている校章をデザインされた龍田邦比古氏（東大卒業後隣住友倉庫に入社、現在は同社監査役）に登場いただきました。

### 戦後教育制度の大転換期

入学されたところのお話を 私が入学した昭和24年当時、日本の教育制度はマッカーサーの民主化政策で矢張り早く改革され「ヤマトナデシコ」育成の専門店「県立筑紫高等学校（県筑）」は昭和23年に「筑紫女子高等学校」となり、さらに翌24年からは、男女共学の「筑紫中央高等学校」と改称されたのです。入学してみると、生徒の構成は①母体である「筑紫女子高」併置の新制中学校から無試験で上がってきた、いわば原住民みたいな大勢の女子②学校格差解消のため、現住所中心に厳格な校区制（那珂川より南の居住者は筑紫中央へ）が敷かれたことで、筑紫丘や福高などの併置中学から、無試験ながら否応なしに母校に転校させられた者③そして私のように、郡部の新制中学校から初めて試験を受けて入った、ごく少数の者の三種混合でした。

入学の動機は東大受験？ 私ごとですが、昭和20年6月19日の福岡大空襲で焼

れた筑紫中央の門をたたいた次第です。

当時は私のような戦災者や外地引揚者も多く、日本全体が深刻な食糧難、物資不足に苦しんでおりました。雑餉限の旧校舎への通学途中、白木原の米軍兵舎から漂ってくるミルクたっぷりのパンの匂いには、若い私たちの空きっ腹にこたえまじった。学校は1年生約300名の6割は女子、そして上級生も全部女子。照れくさい反面、お姉様方から結構可愛がられ（その好みによってではあります）、特に、スポーツのうまい人はもてていました。

### 新生筑中高校の校章を

現在の校章は先輩がデザインされたと同じです

1年生のときには美術部に入って、好きな絵画と飯の次に好きな英語に耽溺して過ごしていました。入学して校章デザインの募集があり、幸い私の作品が選ばれました。なんでこの時期にと思い返しますと、男子の帽子にもつけられる、新生筑紫中央の校章が必要だったからでしょう。原画は、



龍田邦比古氏  
高4回生（昭和27年卒）

## あの人この人訪問記 ⑦



高校時代に入賞された氏のデザイン

大) 出の伊勢幸平先生が、現在のすっきりした無地に手直しをされました。デザインといえば、同年夏頃に

占領軍の民主化教育部門であったCIEが宣伝ポスターを県下高校生に公募したときにも、応募するよう伊勢先生に勧められて入選し、岩田屋の印刷で県下に貼り出されました。絵が好きな私にとっては、これも高校時代の忘れ得ぬ思い出です。

絵を描きながら東大に合格されたのですか  
絵は1年限りでブツッリやめて、2年からは受験準備に没頭しました。むろん友達も「打倒修猷館！」とか「筑紫ヶ丘に負けるな！」と、勇ましいスローガンを掲げ、女子も男子に負けじとがんばっていました。

### 淳々と説かれた福田義輝先生

思い出に残る恩師は？

2年生の梅雨どきに朝鮮戦争が始まり、米・ソ両大國対決の時代がありました。

この段階で、私には有利な面と不利な面がありました。有利な面とは、英語の先生から「英語はもういいから、不得意の数学に没頭しろ」と言われ、2年からは国立一期校に必要な8科目中の7科目に集中できたこと。不利な面とは、当時は今と違って、進学先別の合否ラインのデータや母校の枠を越えて自分の位置が分かるような公開模擬テストもなく、目安となる先輩も居ませんでした。そこで、見えないライバルがたくさんいる小石川高校や日比谷高校の高度な問題集を在京の兄から取り寄せて敵のレベルを知り、それを解いては、通常の授業でお疲れの先生に、休憩中、放課後の見境なく質問攻めをしました。どの先生も、嫌な顔一つされずシッカリ受け止めていただき、先生方も、母校第一回目の実績を創るために、暖かいネットワークを組んでおられたのだなと感謝すると共に、余分な負担をかけて申し訳なかったと思っています。

その秋に、私が英語の担任福田義輝先生に「今後どっちに転んでもいいように、大学の第2外国語はロシア

# 石井忠氏に 県文化賞



第8回(昭和31年)卒業生で、昭和56年から昭和61年まで母校の教師を務められた石井忠氏(九州産業大学講師)が、第6回福岡県文化賞を受賞されました。

石井氏は、中学・高校の教師を務めながら福岡市の志賀島から遠賀郡芦屋町の芦屋浜までの海岸を歩き、打ち寄せられた漂着物約8千点を収拾し、異文化との交流などに視点を広げ、民俗学に漂着物研究という分野を切り開いたことが認められたもので、同文化賞の社会部門での受賞となったものです。著書には、「漂着物の博物誌」「海辺の民俗学」などがあります。

## 太宰府支部総会講演内容

### ☆パラソル海岸

東京からの飛行機が、福岡市の上空に差しかかると、柔らかいカーブを描いた海岸線が見えてきます。これが、パラソルを開いた形に見えるところから、パラソル海岸と言うそうです。

### ☆決まって歩く海岸線

パラソル海岸の福岡市東区海の中道から遠賀郡芦屋の浜までの凡そ58キロが歩く範囲です。そこを1日に凡そ10キロ程度、1ヵ月から1ヵ月半かけて歩いています。

### ☆ゴミも貴重な漂着物

漂着物収拾の歴史は、古くは寛永3年(1231)宗像大社に漂着した木材により、本・末社の修理をしたという記録が残っています。

最近、食物でも季節感がなくなりましたが、海で遊ぶ人も一年を通じて変わらないようになりました。そのせいか、ゴミもやたらに増えてきました。しかし、そのゴミも良く見ると、いろいろな物があり、興味が尽きません。

### ☆漂着物にはその時代を映した物もある

一時期、台湾から中国向けに台湾の素晴らしいところを書いた印刷物入りの瓶が流れ着いたことがありました。これは、台湾国が意図的にやったことです。

最近、韓国から北朝鮮向けに、印刷物の入った瓶を多く見かけるようになりました。北朝鮮の食料事情を考えてか、缶詰が1個入っています。

### ☆漂着物の収集期

漂着物には、①浮いて流れ着くもの②沈んでいるものがあります。沈んでいるものも波で揺り上げられて、陶磁器等は、浮き上がってきます。

漂着物の収集期は、冬です。木枯らしが吹き始める10月の始めから3月までの間で、大陸からの季節風に乗って、いろいろな物が漂着してくるのです。

### ☆漂着物収集は生涯学習のテーマ

漂着物収集の楽しみは、①拾うこと②それを見ること③調べることがあります。

拾い物の中には、体長1メートルもある烏賊もありました。

素材は無限にあり、これぞ、生涯学習の立派な1つのテーマです。皆さんも、始められてはいかがでしょうか。

在校生とパネルディスカッションをなさいました。その時どんな話をされたのですか

進路や進学に迷う時期の在校生に目線に合わせて、自分の反省を含めて力説したのは、「目的にそぐわない

## 同窓会は昔に戻る場

語の方が賢いですね」と先口で申し上げたところ、先生は私の英語に対する慢心を見抜かれ「君には、受験勉強としての英語はもう十分といったが、英語そのものは究めれば果てしない奥行きがある。そんなさもしい打算で、選んではいけない」と、夕日が沈むのも忘れて諄々と諭されました。

あの日の先生の熱っぽい説論は、今日に至るまで、私のものごとに取り組み姿勢の原点になりました。また、英語研究が実利を離れた生涯の趣味になったのも、あの日の説論のお陰だと感謝しております。今も、余暇には、言語としての英語の研究を欠かしたことはありません。

い闇雲の努力は、自己満足以外に何の意味もない。努力を始める前に、どういう段取りでどういう接近の仕方をするれば、どの程度達成できるかを熟考して作戦を立てなさい」ということでした。実際は、目的に適った努力か否かは後で分かる場合が多いのですが、せめて、そんな意識を持ってかかるだけで、無駄が省けると思っているアドバイスでした。これは、社会生活でも適用するのではないでしょう

若い人におっしゃりたいことはございませんか  
年配者はとかく自分の青年時代を忘れて、現代の若者の知性や意志力、道徳感の低下を嘆きますが、私は一般論としては別の見方をしております。もし年配者の危惧が事実なら、日本の文化、国力は明治、大正、昭和、平成となるにつれて次第に衰えてきたはずで

た努力か否かは後で分かる場合が多いのですが、せめて、そんな意識を持ってかかるだけで、無駄が省けると思っているアドバイスでした。これは、社会生活でも適用するのではないでしょう

り「窮乏に耐える」ことから学びましたが、若者は「自主選択」のもとで立派に發揮しております。「怠け者」は昔も大勢いたし、「勤勉な青年」は今も大勢を占めています。  
だから私は、今の若者の思考や感性を、時代の要請に応じたものとして「正常視」しています。大多数の年寄りは、幅広い経験智を持っていてのですから、若者は、自分たちのために拝借しないと損だと思えます。年寄りに対する敬意とは、経年劣化した社会的弱者への労りというより、拝借した経験智への気持ちの上での「お礼」ではないかと思っています。年寄りが若者か



今も楽しんでいる「シャレ」と「デザイン」(友人の「ゴン」さんをもじった最近の戯画)

から敬意を払ってもらえたら、馬齢ではない年相応の総合的な能力や識見、人柄があつてこそでしょう。私自身そうありたいと思っています。  
龍田さんにとっての同窓会とは

当時の自分に戻りたいと思うからです。ここでは、現在の地位や資力は無関係ですし、まして、選挙運動などは場違いというものです。同窓会の組織も、昔に戻る場を創っていたら、基本的な存在理由だと思います。

# 参加者は過去最高

## 平成10年度東京支部総会

東京支部の平成10年度総会が9月27日(日)神田お茶の水『ホテル聚楽』に於いて、過去最高の参加者である150人が参加して開



催されました。同窓会本部からも、村田会長や恩師代表として藤智恵先生、松下新副会長、鬼塚事務局長が馳せ参じ、花を添えました。同総会は、岡部文雄東京支部長及び村田会長の挨拶で幕を開

け、来年の幹事クラスである昭和11年度卒業生から副支部長と書記を選出して懇親会に入りま

した。藤智恵先生の乾杯の音頭で幕を開けた懇親会では、各クラス幹事から出席した人をクラス毎に紹介があり、学年を超えた参加者や先輩・後輩の輪ができ、故郷を離れたお互いの活躍に話が弾み、盛会のなかにも意義深

い支部総会が終了しました。二次会では、松下新副会長が博多山笠の水法被で登場し、『オッショイ、オッショイ』と掛け声で会場を一周すると、会場からやんやの喝采が沸き起り、喝采はいつしか拍手子となっていました。次回の支部総会では、一次会での松下新副会長の出演が確定したほどでした。

### 山崎氏個展を開く

「つくしの」第22号で紹介した山崎勉氏(第20回、昭和43年卒)の福岡での作品展が、7月14日から7月19日まで、福岡市中央区新天町の「ギャラリーSEL」で開かれました。山崎氏はパリに在住し創作活動を続け、2年に1度日本に戻り、東京と福岡で作品展を開かれています。

## 第15回太宰府支部総会開く

### 今村校長も出席され盛大に

6月7日(日)太宰府天満宮余香殿に於いて、第15回太宰府支部(村上弘支部長 総会が、約百名の会員を集めて盛大に開催されました。

同総会には、この4月から母校に就任された今村校長先生をはじめ、恩師も多数参加されました。太宰府支部の総会は、毎回、太

宰府在住の母校同窓生の講話を聴くことが特徴ですが、今回は15回を記念して、同窓生、恩師、漂着物収集ブームの火付け役として名高い石井忠氏(九州産業大学講師)を招き、漂着物研究に関する講話に耳を傾けました。

〔講話内容は5頁に掲載〕

## 大人から子どもまで魅了

### 第19回筑紫中央高校吹奏楽部定演

筑紫中央高校吹奏楽部の第19回定期演奏会が、8月23日(日)筑紫野市文化会館で開催されました。

演奏会では、コンクール課題曲「稲穂の波」や「ものけけ姫メドレー」、「タイタニック」が披露されましたが、大人から子どもまで十分に楽

しませ、満席の客席から拍手を得ていました。

なお、同吹奏楽部では、大型楽器の購入などの部の運営に大変苦勞されていますが、このことから、我が同窓会も、80周年記念事業の1つとして楽器購入費用の一部援助などを行っています。



## 自然光で親しみ易く

### 新図書館が完成

母校西側に完成した図書館の落成式が、平成10年5月16日(日)に行われました。

新図書館は2階建てで、1階には研修室と視聴覚室が、2階には天井の一部をガラス張りにして自然光を採り入れた閲覧室があります。閲覧室には、約20種類の雑誌が置かれ、親しみやすい図書館となっています。



この図書館の備品購入には、同窓会80周年記念事業募金の一部が充てられています。

### 学校メモ

- ▷校長 今村八洋
- ▷生徒数 1,325人
  - 男 460人
  - 女 865人
- ▷母校出身教師等
  - 事務長 豊福金蔵・35年卒
  - 教師 森山博志・55年卒
  - 教師 森山徳浩・54年卒
  - 教師 一瀬 仁・53年卒